



令和8年1月31日発行

## 法人理念

人が人として人とともに豊かに生きる

## 基本方針

1. わたくし達は人との出会いを大切にします
2. わたくし達は思いやりと謙虚な気持ちを大切にします
3. わたくし達は個人を尊重し心優しい援助に努めます
4. わたくし達は社会福祉に貢献できるよう資質の向上に努めます
5. わたくし達は地域との信頼を深め開かれた施設運営に努めます



社会福祉法人 甲山福祉センター 西宮すなご医療福祉センター

〒663-8131 兵庫県西宮市武庫川町2番9号 TEL:0798(47)4477 FAX:0798(43)1022  
HP:<https://www.sunago.or.jp> E-mail: mail@sunago.or.jp

## リハビリテーション室



小高 ゆかり

## 「すなごDEマルシェに出店しました」

明けましておめでとうございます。

わくわく工房では、昨年初めてすなごDEマルシェに単独で出店しました。新年の午年の張り子をメイン商品として、数年振りにメンバーが“店頭販売をする”ということができました。「いらっしゃいませ～」と拍手しながら呼びかけ、お代を受け取り「はい、どうぞ」と商品を渡し、自分たちで生産したものを自分の手で販売しました。また、その収入で、1年の締めくくりの修了式にて打ち上げをしました。

修了式では、クリスマスソングを歌いながらみんなでハンドベルを奏で、美味しいケーキを食べて、お疲れ様!! 乾杯!!

今年もみんなでこつこつと作品を作り、わくわく販売会も開催したいと思います。干支張り子もまだありますので、お楽しみに。

2026年が何事もウマくいく素晴らしい年になりますように…。

## 新年のご挨拶

### 「進」

明けましておめでとうございます。  
本年もよろしくお願ひ申し上げます。

新年の挨拶にあたり、令和8年に懸ける思いを一文字で表してほしいと、広報担当者から求められ、「進」という字を選びました。後から調べると、今年の干支である「午」は、力強い「行動力」「前進」「躍動」「成功」を意味することが多いようです。

振り返れば、私たちはここ数年、コロナ禍をはじめ、国内外において予測困難な社会情勢の中で、直面する事態に対応することばかりで、将来を見据えて考え、行動することができませんでした。

私たちが目指す「進」に、三つの意味を込めています。

第一は「深化」です。自らの変化に惑わされることなく、自分たちの核となる強みや価値観をより深く掘り下げ、揺るぎない土台を築くこと。

第二は「進化」です。過去の経験に安住せず、新しい技術や多様な価値観を柔軟に取り入れ、時代に合わせた自己変革を遂げること。

そして第三は「真価」の発揮です。磨き上げた力を社会のために役立て、確かな結果として結実させることです。

変化の激しい時代において、現状維持は後退と同義です。迷いが生じたときこそ、この「進」の文字を羅針盤とし、たとえ一歩が小さくとも、歩みを止めない限り、景色は必ず変わります。

今年が皆様にとって、昨日より今日、今日より明日へと、一歩ずつ着実に「進」み、輝かしい地平へと到達する素晴らしい一年となることを心より祈念しております。

本年も共に、未知なる道を楽しんで進んでいきましょう。



院長 田中 勝治

### 新年あけましておめでとうございます。

ご利用者ご家族の皆様、職員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

午年の一年がはじまりました。昨年は世界の人たちが大阪にあつまり、明るい調和に包まれた大阪万博の一年でした。当センターの利用者様も万博会場へ行き、世界の人たちに出会ってきました。すごいことですね。行けなかった利用者様は万博オンライン生中継を体験しました。

一方、世の中は物価高騰が続き、暮らしの豊かさを感じづらい一面もありました。ITやSNSの発展により人と人は24時間どこでもつながる便利な社会にはなりましたが、心の奥の方を感じとれる心の豊かな私たちでありたいと思っております。

令和8年、新たなチャレンジの一年となる人たちもおられると思います。「和をもって貴しとなす」という言葉がありますが、協力・協調・協和が大事といいます。互いの違いがあっても「和(調和)」に至ることが大切であり、いかに「調和」に至る努力をするか、そしてその「調和」ができれば世の中は何事も成就するという教えです。また、「中庸」という言葉は、古くから多くの文化で大事にされ「極端に走らず、物事の真ん中や適度な状態を保つこと」を意味します。行き過ぎや不足を避け、バランスを取る考え方として、生き方、人間関係、経営、政治などあらゆる場において大切にされてきました。何事もちょうどいい加減、中庸を暮らしの知恵にしてください。

今年も皆様と力を合わせて、午(うま)くいく年に、新しい年、急がず慌てず、でもすべてが「ちょうどよく」、努力が無駄にならず、成果がゆっくりと実る年になりますように祈念いたします。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



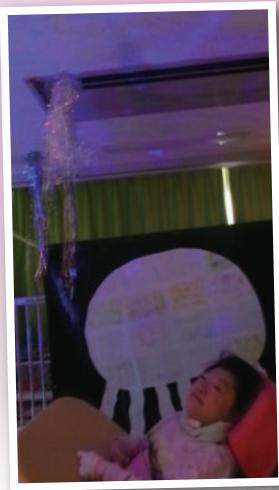
事務長 小谷 卓

## 2階病棟

福持 祐子

2階病棟では、12月27日～1月5日までクラゲ展を開催しました。フロアが2つに分かれているため、それぞれ違った方法で大きなクラゲを2種類作りました。1つは、画用紙に好きな色のスタンプ台を好きな形にペタペタとスタンピングしてもらいました。また、ヤクルトなどの空き容器で持ち手を作り、持ちやすくするための工夫をしました。もう1つは、5種類の色から絵具を選んでビー玉につけ、画用紙を敷いたタッパーの中で転がして模様をつけました。コロコロと転がすと良い音もしますが、振動も伝わり、不思議そうにする方や、楽しくて笑顔があふれる方などさまざまでした。

皆さんの協力で無事クラゲが完成し、ほかの装飾や、光、音楽を付け足すと、とても穏やかで素敵な空間になり、利用者も職員もゆったりとした空間で癒される年末年始を過ごしました。



## 3階病棟

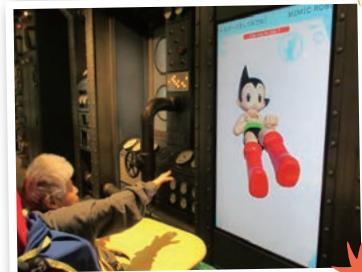
森本 侑里恵

11月28日の3階病棟院外活動では「観る・聴く」を目的とし、手塚治虫記念館と宝塚歌劇団の衣装や小物を観に行きました。

紅葉が美しく色づく道を通って手塚治虫記念館へ。代表作「リボンの騎士」のサファイヤと一緒に撮影し、入館記念のスタンプを押しました。ミニシアターアートムビジョンでは「手塚治虫伝 マンガ篇」が上映されており、皆さん映像にくぎ付け！昼食後で少しウトウトされる方もいましたが、手塚治虫氏について知ることができました。ほかにもカプセルに入った展示物や体験コーナーでさまざまなキャラクターに触れ、手塚治虫作品を楽しむことができました。

その後宝塚ホテルに移動し、宝塚歌劇団の衣装や写真・小物を展示しているコーナーへ。華やかな衣装や小物を不思議そうに眺める方や、興味を示される方など反応はさまざまでした。

最後に公園でおやつを食べ帰路へ。気候も落ち着いており、宝塚の街をゆっくり散策することができました。



## 4階病棟

森垣 有菜

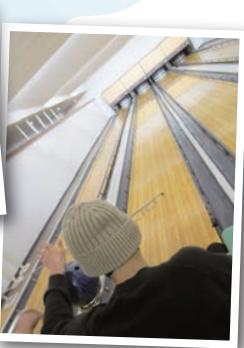
### 白熱の戦いといい湯だな

11月26日に院外活動で大阪市舞洲障害者スポーツセンター（アミティ舞洲）に行ってきました。行きのバスでは、楽しみなのか声を上げて笑っている方もいれば、緊張でソワソワされている方、じっとバスに揺られている方とさまざまでした。

トランポリンでは、みんなで寝転がり揺れを感じながら穏やかな時間を過ごしました。一方ボウリングでは、職員も混ざり2チームに分かれ白熱した対決が繰り広げられました。なかには数回でコツを掴み、職員が手を誘導すると上手にボールを押し出し、ストライクが取れた方もいらっしゃいました。チームの応援をしたり、たくさん倒れて喜んだりと、利用者の方々のテンションも高く、にぎやかな雰囲気で楽しんでおられました。

運動をして汗をかいた後は、お風呂に入りました。みなさんお風呂が大好きで、いつもより少し広いお風呂にゆっくりと浸かり、リラックスした柔らかい表情が見られました。

充実した1日になったようで、みなさん良い表情で帰院されました。



## 西病棟

安達 了一

### サンタ&トナカイがやってきた！

西病棟の12月のお楽しみ会では、クリスマスの季節ということもあり、サンタとトナカイのコンビが病棟にやってきました。

はじめにお誕生月の皆さんにバースデーカードを贈呈、そして利用者の皆さんと記念撮影をしながら病棟を巡りました。サンタのギター演奏、テンションの高いトナカイのトーク…と病棟は一気に非日常な空間となりました。面会に来られていたご家族も巻き込みながら、サンタとトナカイは練り歩きます。

利用者の皆さんの反応ですが、奇妙なコンビの突然の訪問に、ある人は驚くことも怖がることもなく非常に冷静な表情、またある人は満面の笑顔で迎えて下さりました。気分を良くしてギターを弾くサンタ、調子に乗るトナカイでしたが、皆さんの受け入れも良好で、無事クリスマス気分を盛り上げることができました。

全ての西宮すなご医療福祉センター関係者の皆さんに、メリークリスマス！そしてハッピーニューカー！  
シユーネクストタイム！！



## 児童発達支援室

ねっこ



田中 紀子

## クリスマス会

今年、放課後等デイサービスで初めてクリスマス会をしました。

最初にクリスマスカード制作をしました。まずは、一人ひとりが緑や黄緑の画用紙をハサミで切ったり、のりで貼ったり、シールでデコレーションして素敵なクリスマツリーを作りました。仕上げにみんなのクリスマツリーを1枚の画用紙に貼って、クリスマスカードの完成です。

次に「おおあらし」というゲームをしました。今回は特別にクリスマスバージョンで行い、みんな大笑いしながら楽しく遊ぶことができました。

最後に、みんなで作ったカードを1階フロアにプレゼントしにいきました。たくさんの職員から「かわいい!」「素敵!」と言われて、うれしい反面少し照れくさそうにもしていましたよ。そしてクリスマスカードのお礼にと、クリスマスプレゼントをもらいました。みんなはもらえるとは思っていなかったので大喜びです!帰る際には「ありがとう」と大きな声でお礼も言うことができて、楽しいクリスマス会を過ごすことができました。



## すなごDEマルシェ

4階病棟 宮根 一男

2021年から始まった「すなごDEマルシェ」も今回で6回目を迎えました。出店数は過去最高となる13店舗にご協力いただきました(丸福、ヴィ・リール、なかよし工房、ワークキューブ、珈琲焙煎工房 Hug、ACCEPT COFFEE ROASTERS、ここいろいろクラン、すずかけ作業所、夙川さくら作業所、ボレロ、e-flap、西宮すなご医療福祉センター家政室、リハビリテーション室わくわく工房(順不同))。

また、今回から購入した商品を病棟内で飲食できるようになり、利用者の皆さんのが家族や職員と一緒に買い物を楽しむ姿がたくさん見られました。さらに、ACCEPT COFFEE ROASTERSと珈琲焙煎工房 Hugには、出張バリスタとして各病棟に来ていただき、香り高いドリップコーヒーを届けてもらいました。

地域とのつながりを感じながら、家族と過ごすひとときを楽しめる貴重な機会となった「すなごDEマルシェ」。今後も継続して開催し、笑顔あふれる交流の場を広げていきたいと思います。



## サルビアの会

3階病棟 東 千奈美

11月26日に利用者の皆様の長寿と健康をお祝いするため、サルビアの会が開催されました。花言葉に尊敬・家族愛という意味があることから還暦・古希をお祝いする会を「サルビアの会」と名付けています。今年度は6名の利用者が還暦、2名の利用者が古希を迎えるました。

はじめに院長、生活支援課長よりお祝いの言葉が述べられ、これまでの人生の歩みと、人生の先輩方へ感謝の気持ちが伝えられました。

また、乾杯の挨拶ではスペイン語で乾杯・健康を意味する「サルー」の掛け声に合わせ、シャンメリで乾杯をしました。今年度は15名の看護実習生も職員と一緒にサルビアの会を盛り上げてくださいました。

最後には音楽療法士の米津さんによるハンドベルやフルート、サックスの演奏が行われました。季節の歌やディズニーメドレーなど、普段なかなか目にすることのない楽器の音色に、皆さん目を丸くして楽しんでおられました。

還暦・古希を迎えた皆様が、いつまでもお元気で過ごされることをお祈りしています。



## 令和7年度 法人職員合同実践研究発表会

研修室 田原 賀代

第25回法人職員合同実践研究発表会が、武庫川女子大学で開催されました。参加者は、各施設の保育・高齢・障害分野からの実践研究や取組みについての発表に真剣に耳を傾け、会場は終始活気にあふれていました。

そのなかから、今年度は最優秀賞に特別養護老人ホーム甲寿園の「個別性と工夫を意識した作品づくり」が、優秀賞に芦原デイサービスセンターの「2040年に向けて～支援者の輪を広げるために～」と特別養護老人ホーム甲寿園の「きれいに食べたい！」～目標を持つことって大事です！～」の2題が選ばれ表彰されました。

特別講演は、重症心身障害児学園・病院 バルツァ・ゴーデル院長の羽多野わか先生をお迎えし、「思い込みを手放すとは？見えているモノが全てなのか」をテーマに、ご自身の経験を織り交ぜながらお話をいただき、新たな視点をもたらしてくれる講演となりました。



～3階病棟～

【重症心身障害者施設における  
視線入力型意思伝達装置による  
意思決定支援について】



～2階病棟～

【白湯先注入による消化管蠕動運動の  
促進効果の検証】

## ●令和7年度 社会福祉法人甲山福祉センター永年勤続表彰

2025年11月16日(日)

場所：武庫川女子大学

- (10年) 中島 未佳、中島裕美子、増田百合香、坂本紀美子  
古賀 亜耶、矢仲 貴恵、平岡久満枝、吉崎 哲也  
森本侑里恵、安藤 優帆、山出 周平、松原芙美子  
橋本 慶子、富永由香里
- (20年) 今井 智草、野々上曜靖、坂本 太一
- (30年) 安達 了一



## 令和7年度 永年勤続表彰(30年)を受けて

ちょうど阪神大震災の年に入職し、それから30年経ってしまいました。

「なんとまあ、30年とは…」という感想しかありませんが、いろいろな方々に支えてもらい、助けてもらい、励ましてもらってなんとかここまで働くことができました。

表彰式のコメントでも言いましたが「ありがとう」ぐらいしか思いあたる言葉はありません。もう何遍言ったか分かりませんが「ほんまにおおきに、ありがとう」です。

ここで話は変わりますが、家内のこと少し…。勤続30年と銀婚式を同時に迎えたのですが、子どもたちも大学、高校とすっかり生意…しっかりしてきたので、そろそろふたりの時間も持てるようになってきつつあります。「ほら、しっかりなさい！」とバシンと尻を叩いてくれたり、どうにもならないボヤキを聴いてくれたりして常に支えてくれて、一緒に泣いたり笑つたりしてくれて、本当に感謝です。

「ひーちゃん、これまでありがとう、あと10年頑張ってみるわ。」



西病棟  
安達 了一

^善意、令和7年11月～令和7年12月

寄付金 (順不同 敬称略)

12月 公益財団法人 鳴尾会  
関西学院教会 婦人会

寄贈品(日用品・食品他)

12月 匿名



## 利用者様の作品紹介

### 4階病棟 宮根 一男

4階病棟にはいくつかのサークル活動があり、今回はその中から「クリエイティ部」(制作サークル)をご紹介します。

このサークルでは絵を描いたり、うちわを作ったりと、毎回テーマを変えてさまざまな作品づくりを楽しんでいます。先日の活動では、1枚の画用紙から被り物を制作しました。何を作るかは利用者に決めてもらい、画用紙にはペンで自由に模様を描いていただきました。切り取りの工程は職員が手伝いましたが、完成した作品を実際に身に付けて、みんなで笑顔いっぱいに楽しむことができました。

これからも「作る楽しみ」と「使う楽しみ」を大切にしながら、利用者と一緒に新しい作品づくりに挑戦していきます。



## 編集後記

新年明けましておめでとうございます。

人生の先輩方がおっしゃっていたように、年を重ねるほどに1年の経過が早く感じられます。今年行った初詣は、もしかしたら初詣ではないのかかもしれない?という疑念を抱いてしまいそうになるほどです。

2026年も1日1日噛みしめて、大切に過ごしていきたいですね…。

間 太生

